

人権教育

ともに生きる 121

〈誰もが人間として生きる〉

今回は、全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞に輝かれた、橋本育美さんの作文「皆、同じ普通の人」の中から感じたことを書いてみたいと思います。

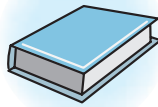
育美さんは、生まれた時から目がみえませんが、けれども保育園、小学校、中学校と地域の学校へ通われています。部活動も吹奏楽部に入られホルンを担当されています。楽譜も耳から覚えられ、先生の指揮も見えないので想像できないくらい神経を集中されていることがわかります。見えないということを除けば、他の友達と変わりのない普通の中学生と書いてあります。

この中で、自分のいいところ、悪いところを含めて、ありのままの自分を好きになることが大事だと教えてもらいました。そして、周りの人は、障害のある人を下に見ず、平等な目でみてほしいと訴えておられます。

目、耳、口が不自由という障害を乗り越え世界中の人に勇気と希望を与えられている、ヘレンケラーさんは、「障害は不便であるが不幸ではない。」と言われています。

かわいそうだと思う同情よりも、「何かお手伝いしましょうか。」という気持ちと行動が大切だということを学びました。

野田陽子



図書館へ出かけよう。

【休館日】 5 / 3 (木) 4 (金) 5 (土) 7 (月) 14 (月) 21 (月)
 【特別図書整理】 28 (月) ~ 31 (日) (木) ※この間の図書の返却は北側ドア前の返却ポストへ

話題の新刊 おすすめの本

ラスト・イニング

あさの あつこ 作

野球を通じて成長する少年の姿を描き、児童書でありながら幅広い層の読者の熱い支持のもとロングセラーとなり映画化もされた「バッテリー」の続編。主人公の対戦相手の目を通して描かれている。



うさぎのおうち

マーガレット・ワイズ・ブラウン 作

巣立つ春。うさぎは新しい自分のおうちをどこにしようかと探しまわります。途中で出会った動物たちと、一緒に住めないかなと思ってたずねてみるのですが、みんなに断られます。さて、どうしよう。



イボイボガエル ヒキガエル

三輪 一雄 作

ヒキガエルは少々人が近づいても逃げない。その威風堂々としたところが好きという作者が、ヒキガエルのひみつをみんなに教えます。ちなみに、日本には5種類のヒキガエルがいるそうです。



その他 おすすめの本

- | | | |
|------|-----------------|-------------------|
| 成人向き | ◆チエちゃんと私 | (よしもと ばなな) |
| | ◆夢を与える | (綿矢 りさ) |
| | ◆夢を見たか | (宇江佐 真理) |
| | ◆食卓の向こう側 | (西日本新聞社) |
| | ◆断片と線 | (清岡 卓行) |
| 児童向き | ◆うさぎのさとうくん | (相野谷 由起) |
| | ◆しあわせなブタ | (パトリック・ルーカス) |
| | ◆ねどこ どこかな? | (トール・フリーマン) |
| | ◆ぼんぼこトリオとへんなおしろ | (深見 春夫) |
| | ◆わたしのかわいいめんどり | (アリス&マーチン・プロバンセン) |

市民文芸

《麦の芽短歌会 多久麦の芽五選》

散りしける花びらのごとき叔母かえる
 収骨室のうからの許に
 内田 龍子

山茶花の咲く公園に竹炭の
 竹割る人はひたすらにして
 栗原 瑛子

短歌よめず戸惑ふわれの背を押せる
 師の手の温もり今も忘れず
 本村 則子

柁に鰯をさしいし雪の頃
 母なつかしく想い出さるる
 小池千恵子

春しづか対の陶雛ちゃんまりと
 米寿祝いに息子らより届く
 迎 寿代

《あざみ俳句会 あざみ俳句会五選》

満開の花に理とる忠魂碑
 田中 惊子

母の髪切る縁側や桃の花
 光野 正子

菜の花に囲まれ在す地蔵かな
 川内すみ子

水子地蔵春めく風に日の注ぎ
 武富 律子

青畳匂ふ座敷の雛人形
 中嶋 清子

《多久川柳会 林口 岳生選》

千の風 菜の花色に 吹き渡る
 大谷 和

敵失も 同じむじなで 攻めきれず
 富安 正喜

初めての 同窓会に 赤い服
 井上 東子

温暖化 不協和音に 泣く地球
 松下 修

女三人 お喋りつきぬ 籬の膳
 田代 弘子